

苦小牧市モーラップ樽前荘の廃止について寄せられた意見と市の考え方について（パブリックコメントの結果）

意見提出期間 令和4年11月21日 ～ 令和4年12月20日 （30日間）

意見提出人数 3人

提出意見件数（項目） 3件 （3項目）

提出意見と市の考え方・提出意見を考慮した結果とその理由 次のとおり

項目 No.	提出 人数	提出された意見 (意見提出区分 第三者利益による削除等の有無)	提出された意見に対する市の考え方 提出された意見を考慮した結果とその理由	反映区分
1	1	<p>(原文・<u>整理要約</u> 有・<u>無</u>)</p> <p>クラウドファンディングで費用を集めるなどして、観光の発信基地だけでなく、苦小牧移住プロジェクトの拠点として活用できないか。</p> <p>苦小牧は、自然豊かな支笏湖が近く、フェリー乗り場や新千歳空港もあり、国道、JR、バスなど利便性が高い恵まれた場所である。また登別や洞爺湖、ニセコ、羊蹄山も日帰りできる。市民・移住者の声を聞き、道内外に観光・移住促進をもっと強く押し出していくことが重要ではないか。</p> <p>建物を市で管理できないのであれば管理人に譲渡することは不可能でしょうか。解体費用も高額であり市で負担するより管理人に譲渡することも考えに入れてほしい。</p> <p>道外の人と数少ない接点である樽前荘を廃止することに反対です。</p>	<p>■<u>クラウドファンディングの導入について</u></p> <p>クラウドファンディングによる収入は考えられますが、施設の利用実態やニーズ等も含め今後の施設の持続可能性を考えた中で廃止という考えに至ったものです。</p> <p>■<u>観光・移住の促進について</u></p> <p>支笏湖は本市からも近く多くの観光客が訪れる場所ですので、千歳市や環境省と連携しながら、本市への誘客につながる取り組みを検討していきたいと考えています。また、支笏湖や樽前山、ウトナイ湖など、本市とその周辺の自然環境は大変魅力的であり、今後の移住施策におきましても、その強みを効果的に発信していきたいと考えています。</p> <p>■<u>管理人への譲渡について</u></p> <p>施設廃止後の建物の利活用については、現状とは違った活用方法も考えられますことから建物の売却を検討しており、民間事業者などに有効活用を図ってみたいと考えています。</p>	C

2	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>確かに当初の目的から変化し、利用形態は実質的にはライダーハウスのように思っていると思うが、ライダー達は景色の良さ、立地場所の良さを語り「苦小牧市は本当に良い物を造ったね」と言い、私は苦小牧市民として誇らしい気持ちである。</p> <p>樽前荘の良さとして、公設の施設としての安心感、特に女性ライダーにはセキュリティーの良さが知れ渡っており、管理人の人柄も高評価である。</p> <p>また、苦小牧市街地での買い出し、国道 36 号線やフェリーターミナルへのアクセスの良さもある。</p> <p>樽前荘の利用者はリピーターが多く、苦小牧市へ移住した人も幾人もいるとのこと。長い年月で口コミやSNSなどで伝わったと思われ、市への観光・訪客に少なからず効果があったと思われる。</p> <p>コロナ過の影響もあり利用者数は明らかに減少しているが、全国のライダー達に知られているこの施設を、今後は苦小牧市の PR 施設としてかつ樽前山と支笏湖を結ぶ拠点施設として、何らかの形で存続を図り、より積極的に活用していくべきと考える。</p>	<p>時代の変化やニーズの多様化によって需要が低迷しており、支笏湖周辺の観光施設として牽引役を担ってきた樽前荘の役割は終わったものと考えています。</p> <p>施設廃止となった場合は、現状とは違った活用方法も考えられますことから建物の売却を検討しており、民間事業者などに有効活用を図ってもらいたいと考えています。</p>	D
3	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>樽前荘は苦小牧市の施設として唯一「支笏・洞爺国立公園内」に設置されている貴重な施設である、廃止となれば市民にとって身近だった支笏湖がより一層遠退くのではないかと、そのことが将来に禍根をのこすことになるのではないかと</p>	<p>■クラウドファンディングの導入について</p> <p>クラウドファンディングは一時的な資金の確保は可能であると考えますが、継続した運用資金など施設を維持していくための財源には馴染まないものと考えています。</p>	D

	<p>危惧している。</p> <p>施設の老朽化対策として観光行政やアルテンとは視点を変えた青少年の自然学習拠点として、広く参加型の姿勢をアピールして、場合によってはクラウドファンディングを導入するなどしても財源を確保することを考えるべきである。</p> <p>最近、支笏湖周辺に高級宿泊施設が多く開設されており、樽前荘が廃止されれば、安価で安心して泊まれる宿泊施設が皆無となり、安価ゆえに長期滞在者などの実績がある樽前荘は多くの方々からも存続が求められている。</p> <p>利用者にとって安価で長期滞在に対応できる施設は支笏湖畔周辺観光施設としても貴重になってくると思う。</p> <p>指定管理者制度導入下にあって、今こそ民間活力の活用を發揮し、国立公園内に設けられた貴重な苫小牧の財産として維持されることを切望する。</p>	<p>■民間活力を活用した存続について</p> <p>時代の変化やニーズの多様化によって需要が低迷しており、支笏湖周辺の観光施設として牽引役を担ってきた樽前荘の役割は終わったものと考えています。</p> <p>施設廃止となった場合は、現状とは違った活用方法も考えられますことから建物の売却を検討しており、民間事業者などに有効活用を図ってみたいと考えています。</p>	
--	--	--	--

反映区分	提出された意見の反映状況
A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見との趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等

「原文」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見そのものであり、整理、要約、削除等をしていないものをいいます。担当課において、原文の備付けや閲覧による対応が必要となります。「整理要約」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見を整理、要約、削除等をしたものをいいます。

なお、「原文」・「整理要約」のいずれの場合であっても、第三者の利益を害するおそれがあるとき（個人のプライバシーに係る事項、企業秘密等）や、その他正当な理由があるとき（提出意見を公にすることにより公益上の支障があるとき等）は、その部分について除くことができます。